

令和5年「山分町夏まつり」について

＝山分町夏まつりの火を絶やさないために＝
(8月6日(日)に「石取りまつり」として実施)

山分町自治会 会長

1. 現在の状況

山分町自治会の一年間の活動の中で、もっとも大きな行事である山分町夏まつりですが、昨年はコロナ禍で休止していたものを、石取りの継承と世代交代などを考慮して、規模を縮小した上で七日会単独で実施しました。

今年に入り、国は5月8日をもって、新型コロナウイルス感染症を感染法上の第5類に移行し、インフルエンザと同等の感染症扱いとしました。もちろん感染症そのものがなくなった訳ではありませんが、マスクなどの着用も個人に委ねられました。

2. 山分町自治会の夏まつりについての考え

このように国の規制が緩和されたことから、多くの社会的活動が再開することとなりました。それゆえ、本来であれば山分町の夏まつりも4年前の姿に戻して開催したいところですが、休止していた3年間のブランクはとて大きいものがあります。

特に、今まで自治会と協力し、夏まつりを中心的に運営してきた七日会が、今年になって休会となったことにより、夏まつりで行ってきた催し物・飲食・抽選会などは開催が困難な状況です。そこで、5月の山分町自治会定例会にて、自治会役員、組長、各種団体役員が協議した結果、今年度の夏まつりは、子どもも参加する形で「石取り」(山車の引き回し)を行う「石取りまつり」として実施することとし(子どもは第1集会所での打ち鳴らしのみ)、6月の自治会定例会にて、実施は暑さ対策を十分取った上で、8月6日(日)に行うことになりました。

運営については育成会、PTA、自治会役員、休止中の七日会有志の皆さんと協議の上、進めていきます。

3. 夏まつりの火を絶やさないために

地域の子どもの減少、一方で住民の高齢化が進む中、地域での活動を維持することは難しくなっています。残念ながら、夏まつりは今年も縮小したものになります。

しかし、地域の知恵と力を出し合い、大規模災害など「いざという時に力を出すため」にも、地域の協力によって作ってきた「山分町夏まつり」を残していきましょう。

町民の皆様のご理解とご協力を、ぜひお願いします。

以上